

令和 7 年度 東京都立八王子盲学校 学校経営報告

校長 田島 由紀子

I 今年度の取組と自己評価

目指す学校像「一人一人の最適な学びを追究し、生きる力を育む学校」の実現に向け、令和 7 年度は、教育課程の充実とデジタル活用の推進を重点に据えた学校経営を行った。

教育課程検討プロジェクトを中心に、会議を年 19 回実施し、幼稚部から高等部までの指導内容を整理するとともに、連続性・系統性のある教育課程の構築を進め、その成果を令和 8 年度教育課程編成へ反映させた。特に高等部普通科においては、新課程の設置に向けた準備を着実に進め、生徒一人一人の実態や進路希望に応じた、よりきめ細やかな指導が可能となる教育体制を整えることができた。

また、都の研修指定を受け、一人 1 台端末やデジタル教科書等を活用した授業実践を継続的にを行い、他盲学校とのオンライン授業や交流を通して、対話的・協働的な学びを広げた。これにより、視覚障害に配慮した ICT 活用について、授業での活用が広がりつつあり、学習理解の促進や学びの広がりを支える手段として、一定の手応えを得ることができた。

さらに、仮設校舎での教育活動が継続する中、防災体制の点検・見直しや防災訓練、防災用品の整備を行い、視覚障害の特性を踏まえた安全確保に努めた。環境の変化に対応した防災意識の向上を図り、安心して学校生活を送ることができる体制づくりを進めた。

以上の取組を通して、教育課程とデジタル活用を一体的に推進することで、本校の強みである「個に寄り添う視覚障害教育」を具体的な教育実践として示すことができた点は、今年度の大きな成果である。

一方で、在籍幼児・児童・生徒数の減少は依然として大きな課題である。今年度は、学校公開や交流事業、育児相談等の募集対策を計画通り実施したものの、減少に十分な歯止めがかかっている状況とは言い難い。

令和 8 年度に向けては、教育課程の充実とデジタル活用によって高まった本校の教育の質と特色を、より分かりやすく、効果的に発信するとともに、早期からの相談支援や関係機関との連携を一層強化し、募集対策の更なる充実を重点課題として取り組んでいく。

II 今年度の数値目標について

(1) 視覚障害教育の専門性を発揮した学習指導		
目標	計画	結果
①教育課程検討プロジェクトによる、連続性、系統性のある指導計画の作成	令和 8 年度教育課程編成に反映	PJ 会議年 19 回実施。 普通科に次年度から新課程設置。
②ICT デジタルプロジェクトによる、一人 1 台端末やデジタル教科書を活用した授業	各学部(小・中・高普)・学期 10 回以上	年 30 回以上実施
③他盲学校とのオンライン授業及び交流	5 回以上	年 10 回以上実施
④教科書デジタルデータ及び点字ディスプレイの活用	希望者全員	希望者全員に実施
⑤重複障害教育に関する専門性の向上	講師招聘年間 10 回	▼年 3 回実施 在籍幼児児童生徒の実態に応じた設定回数に変更
⑥日本の伝統・文化教育、環境教育の推進	各学部 1 回以上	延べ 10 回以上実施
⑦主権者教育の推進	公共及び特別活動を中心に実施	実施

⑧言語活動の充実	図書貸出の推進 校内弁論大会（中・高）10名以上参加	実施
⑨点字コンテスト・漢字コンテストの実施	各年2回	年2回実施
⑩実用英語技能検定、日本漢字能力検定、珠算能力検定、情報処理検定等の受検の推奨	年延べ20名	情報処理検定1人 漢検7人 英検11人 ▼19人
⑪視覚障害教育の基礎定着に向けた新転任者研修	年25回以上	39回
⑫自立活動の内容に関する校内専門研修	年4回	5回
⑬視覚障害教育の専門性向上に向けた教科グループ研究	月1回	月1回
⑭全校教職員対象研修会	年1回	1回
⑮全教員の研究授業	一人1回以上	年1回
⑯授業改善推進プランの作成、授業研究連携校との相互連携	各学部	実施
⑰特別支援学校教諭免許状（特に視覚障害領域）の取得	未取得者全員の認定講習等の受講	実施

（2）人権尊重・生命尊重を根幹とした生活指導 安心・安全の確保		
①いじめ・体罰の状況把握、予防、早期発見、早期対応	年4回、発生0件	教職員への調査年2回、幼児・児童・生徒への調査年3回実施、発生0件
②スクールカウンセラー等を活用した心のケアに関する取組の充実	全員面接	実施
③校内支援会議による個別のケースの共有と対応	年3回	実施
④SOSの出し方に関する教育	年1単位時間又は日常の指導	実施
⑤地域と連携した防災訓練	年1回	実施
⑥大規模災害に対応するための防災スターターキットの設置	1学期	実施
⑦大規模災害を想定した学校危機管理マニュアルの更新	1学期まで	実施
⑧障害特性に応じた防災研修、避難訓練の改善、実施	研修1回 避難訓練11回	実施
⑨食育の推進、特別食（アレルギー対応食含む）の安全な提供	関連事故発生0件	関連事故発生0件
⑩視覚障害スポーツに関する授業（学校2020レガシー）	小学部4年以上：年2競技以上	小学部全学年、実施回数：14回 普：ゴールボールの体育の授業を実施
⑪各種スポーツ大会、作品展示会、音楽発表会等への参加【関東地区盲学校各種大会、東京都障害者スポーツ大会、総合文化祭等】	のべ50名以上	のべ50名以上達成

（3）総合校、寄宿舎設置校として系統的な指導、生活力の育成をとおした希望の進路の実現		
①一貫した指導、連携のため相互授業参観	他学部参観 寄宿舎参観	実施
②学校生活支援シート活用による「なりたい自分」キ	各担任 年2回	実施

キャリア発達支援		
③将来の生活を見据えた白杖歩行指導、一人通学指導	自立活動の時間及び 随時	実施
④職場体験学習 就業体験（インターンシップ）	小・中・高普	実施
⑤あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師国家試験合格に向けた放課後及び長期休業日中の補習	希望者全員	希望者全員に実施
⑥希望する進路の実現（進学・福祉的就労・企業等就労）	100%	普通科 100% 理療科 33% ※国試合格1名
⑦新たな進路先開拓の取組	5件	※中学部職場体験先 新規3件 ※普通科実習先新規 12件
⑧外部資源を活用した授業、講座、見学	各学部2回以上	実施
⑨学舎連携会議の設置と迅速な課題対応	月1～2回	実施
⑩寄宿舎生活におけるADLの指導、自治活動の充実	随時 舎生会企画 年4回	ADLの指導：随時実施 舎生企画：年5回実施

（４） 発信力の向上と視覚障害センター校としての地域との連携強化		
①寄宿舎参観週間の実施、寄宿舎保護者会の実施	年5日間	参観：年8日実施 保護者会：年3回実施
②保護者学校評価（アンケート）回収率の向上	90%以上	90.32%
③交流及び共同学習（八王子ふたば保育園、八王子市立散田小学校、館小中学校、近隣の高等学校）	幼稚部交流：年5回、その他行事相互交流参加：各年1～3回	幼稚部 八王子ふたば保育園（年10回） 小学部 ①都内盲学校交流会（年1回） ②八王子市立散田小交流会（年1回） ③都内盲学校オンライン交流（1年生3回 4年生10回 5年生3回） 合計 18回 中学部：実施 ※館小中交流会（年2回）
④副籍制度の活用（特に直接交流）	小・中学部生の40%	小学部は在籍14名 中9名、中学部は8名 中1名が直接交流を実施。（45%）
⑤高等部理療科3年生による臨床実習を活用した地域貢献	校内：週5日、校外：随時	実施
⑥本校及び視覚障害教育に関する情報等の発信	資料等送付先1万か所	① 以下の資料の配布 学校案内 各部のしおり 育児相談お知らせ

		見え方チラシ 学校公開案内 学校だより 文化祭のお知らせ 道徳授業地区 公開講座の お知らせ等 〈送付先〉都内眼科 各市小・中学校内弱視 学級 各市保健所 健康保険センター 保育園 地域住民 駅 店舗等地域 都内盲学校 その他メール送信、 電話依頼・HP等を含 め延べ1万か所
⑦ホームページの内容の充実・即時更新	年100回	年104回
⑧学校公開、ボランティア講座への参加促進	延べ50名	① 学校公開の参加者 数6月20日(金) 28名 21日 (土)34名 合計 62名 ボランティア講座： 希望者がいなかった ため中止
⑨育児相談等による乳幼児相談支援の充実	年延べ30名	話相談 来校相談 育児学習会 育児相 談同窓会 関係機関 訪問相談等 計38名
⑩地域の幼稚園・保育園、小・中・高等学校等への支援	年30回	メール、電話の打ち 合わせ等を含む 合計 32回
⑪地域交流タイム	児童・生徒 教職員 月2回以上	地域清掃：中学部1回 高等部1回 地域への学校便りの 配布(月1回) 文化祭ポスターの地 域への依頼(8か所) 地域小中学校交流 年3回 合計 24回(月2 回以上)

(5) 校舎改築・仮校舎移転を契機とした環境整備と工夫		
①校舎改築プロジェクトにおける「本校の在るべき	通年(適時)	実施

姿」「視覚障害に配慮した生活空間の在り方」の検討・実施「安全で充実した代替活動」の計画・実施。		
②全校行事検討委員会による校舎改築に対応した行事の実施	通年（適時）	実施
③工事に伴う安全の確保に向けた関係部署との連携・調整	随時	実施
④体育の授業における安全な代替施設利用	各学部 水泳指導5回 持久走指導4回	実施

（6）組織的、効率的な学校運営による信頼される学校づくり		
①自己申告「今年度の職務目標」の明確化と進捗状況の確認	年3回以上	実施
②経営会議による各部署の課題の早期把握・解決	週1回	実施
③確実な情報共有の工夫 会議記録の電子データ回覧	通年	実施
④週案の電子化、電子回付	高等部普通科より試行実施	高等部普通科、中学部で実施
⑤予算調整会議による計画的な執行管理）センター執行率向上	年3回 50%以上	実施 53.3%
⑥「定時外在校45時間／月」超過者	10%未満	達成
⑦開かれた学校運営連絡協議会	教職員参加型 年1回	第3回学校運営連絡協議会で実施
⑧サービス事故防止研修・呼びかけ	年10回・月2回以上 サービス事故ゼロ	実施
⑨ロールモデルとなる接遇、丁寧な対応の徹底	電話対応 外部対応研修 各1回	実施
⑩職員の心身の健康増進とメンタルケア	安全衛生委員会の活用 月1回	実施